

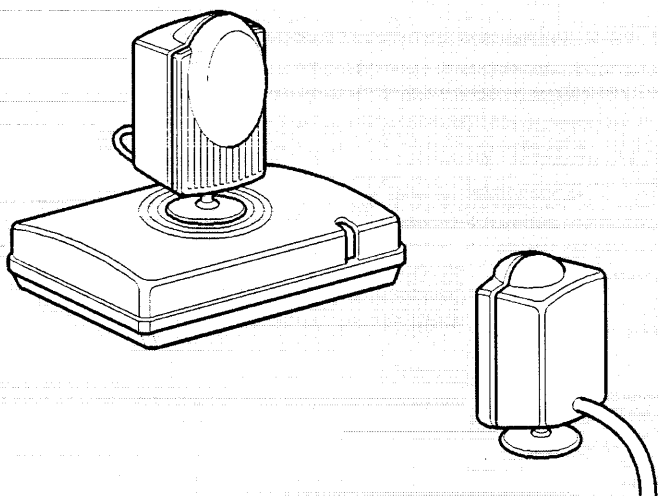
# HITACHI

## 赤外線伝送システム

形名 PCT

# BR6000

## 取扱説明書



このたびは日立赤外線伝送システムをお求めいただき、まことにありがとうございます。

**最初に** 「△安全にお使いいただくために」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。なお、お読みになった後は、いつでも参照できるように手近な所に保管してください。

## もくじ


はじめに.....	2	はじめに
■重要なお知らせ.....	2	
■規制・対策など.....	2	
△安全にお使いいただくために..	3	基本的な使いかた
このマニュアルの見かた.....	8	
各部の名称.....	9	
接続.....	10	
接続に必要な接続コード (別売) ..	11	
設置・使用方法.....	12	
有償部品について.....	14	
アフターケアについて.....	14	
故障かな?と思ったら.....	15	
仕様.....	16	
保証規程.....	17	

# はじめに

このたびは、日立赤外線伝送システム（以下、伝送システム）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

このマニュアルをよくお読みいただき、正しくお使いください。

なお、日立カラー液晶モニター PriusView (DT6150)（以下、液晶モニター）に付属のマニュアルもあわせてご参照ください。

ご使用になる前に、「仕様」の付属品欄  で、すべてのものが揃っているかご確認ください。

赤外線伝送システムのお問い合わせは、下記をご参照ください。

## ■連絡先

伝送システムの使い方やアフターケアについては「FLORA 安心コールセンター」（液晶モニターの取扱説明書の「お問い合わせ先」参照）へご連絡ください。

## ■重要なお知らせ

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容について、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については前項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## ■規制・対策など

### • 漏洩電流に関する規制（パソコン漏洩電流ガイドライン）

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。

### • 輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規制など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明の場合は、お問い合わせ先にお問い合わせください。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2000. All rights reserved.

# 安全にお使いいただくために

- 安全に関する共通的な注意について  
次に述べられている安全上の説明をよく読み、十分理解してください。  
・操作は、このマニュアル内の指示、手順に従って行ってください。  
・装置やマニュアルに表示されている注意事項は必ず守ってください。  
これを怠ると、けが、火災や装置の破損を引き起こすおそれがあります。
- シンボルについて  
安全に関する注意事項は、次に示す見出しによって表示されます。これは安全注意シンボルと「警告」および「注意」という見出し語を組み合わせたものです。



これは、安全注意シンボルです。人への危害を引き起こす潜在的な危険に注意を喚起するために用います。起こりうる傷害または死を回避するためにこのシンボルのあとに続く安全に関するメッセージに従ってください。



**警告** これは、死亡または重大な傷害を引き起こすかもしれない潜在的な危険の存在を示すのに用います。



**注意** これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。

**注意**

これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を示すのに用います。



### 【表記例1】感電注意

△の図記号は注意していただきたいことを示し、△の中に「感電注意」などの注意事項の絵が描かれています。



### 【表記例2】分解禁止

⊙の図記号は行ってはいけないことを示し、⊙の中に「分解禁止」などの禁止事項の絵が描かれています。



### 【表記例3】電源プラグをコンセントから抜け

●の図記号は行っていただきたいことを示し、●の中に「電源プラグをコンセントから抜け」などの強制事項の絵が描かれています。

- 操作や動作は  
マニュアルに記載されている以外の操作や動作は行わないでください。装置について何か問題がある場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、お買い求め先にご連絡ください。
- 自分自身でもご注意を  
装置やマニュアルに表示されている注意事項は、十分検討されたものです。それでも、予測を越えた事態が起こることが考えられます。操作に当たっては、指示に従うだけでなく、常に自分自身でも注意するようにしてください。

 **警告****■ 異常な熱さ、煙、異常音、異臭**

・万一次のような異常が発生した場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。

・煙が出ている、装置が熱い、へんな臭いや音がする

・赤外線伝送システムの内部に異物（水、金属など）が入ったなど

また、すぐに電源プラグを抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。

・異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源を切り、AC アダプターを抜いてお買い求め先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

**■ 雷が鳴り出したら、赤外線伝送システムには触れないでください**

接触禁止

感電の原因となります。

**■ 修理・改造・分解**

自分で修理や改造・分解をしないでください。火災や感電、やけどの原因になります。

**■ 装置上に物を置く**

コップなど水の入った容器や虫ピン、クリップなどの小さな金属物を置かないでください。内部に入った場合、そのまま使用すると、感電や発煙、火災の原因になります。

**■ 電源プラグ**

AC アダプターの電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。

・電源プラグは、根元までしっかり差し込んでください。

・電源プラグは、ほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってから、差し込んでください。

・グラグラしないコンセントを使ってください。

**■ 落下などによる衝撃**

落下させたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

**■ 使用する電源**

使用できる電源は交流 100V です。それ以外の電圧では使用しないでください。電圧の大きさに従って内部が破損したり過熱・劣化して感電や火災の原因になります。


**警告**
**■日本国以外での使用**


赤外線伝送システムは日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより国外で使用すると火災や感電の原因になります。また、他国には独自の安全規格が定められており赤外線伝送システムは適合しません。

**■タコ足配線**


同じコンセントに多数の電源プラグを接続するタコ足配線はしないでください。コードやコンセントが加熱し、火災の原因になるとともに、電力使用量オーバーでブレーカーが落ち、ほかの機器にも影響を及ぼします。

**■湿気やほこりの多い場所での使用**


浴槽、洗面器、台所の流し台、洗濯機など、水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

**■温度差のある場所への移動**


移動する場所間で温度差が大きい場合は、表面や内部に結露することがあります。結露した状態で使用すると、発煙、発火や感電の原因になります。  
使用する場所で、数時間そのまま放置してからご使用ください。

**■ACアダプターの取り扱い**


- ・屋外で使用しないでください。発熱、発火、感電の原因となることがあります。
- ・水に濡らしたり、濡れた手で触れないでください。感電の原因となることがあります。
- ・赤外線伝送システム以外に使用しないでください。感電、火災、装置破壊の原因となることがあります。
- ・熱がこもるような環境で使用したり、放置したりしないでください。火災の原因となることがあります。
- ・ACアダプターは付属のもののみご使用ください。

**■アルミ電解コンデンサーについて**


ACアダプターなどに使用されているアルミ電解コンデンサーは、寿命部品です。寿命時間（約5年）以上使用される場合には、ACアダプターを交換してください。電解液の漏れや枯渇により発煙、発火や感電の原因となることがあります。また装置の故障の原因にもなります。

---

## 注意

---

### ■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜いてください



電源プラグをコンセントから抜くこと

### ■ VTR 接続コードについて



- ・コードは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがや接続機器の故障の原因になります。
- ・コードの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。コード被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

---

## 注意

---

### ■ 接続端子への接続について



接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。発煙したり接触不良などにより故障の原因になります。

## より良くお使いいただくために

### ■設置について

#### ●高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- ・ 直射日光や熱器具の近くなど。

#### ●キャビネットのお手入れについて

- ・ キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどで拭いたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因になります。
- ・ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ・ 送信ユニットや受信ユニットの汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときには、水にうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。特に、次の洗剤などは塗料を傷めますので使用しないでください。
  - ・ アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

# このマニュアルの見かた

マニュアル中で使用しているマークの意味を説明します。



「制限」という見出し語は、人身の安全と直接関係しない注意書きを示すのに用いられます。

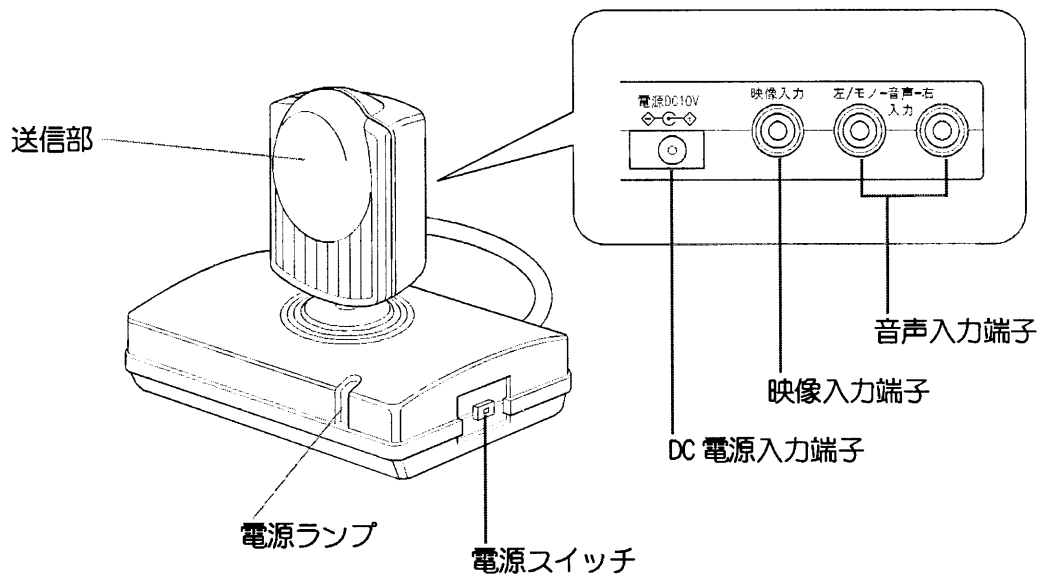


参照先を示します。

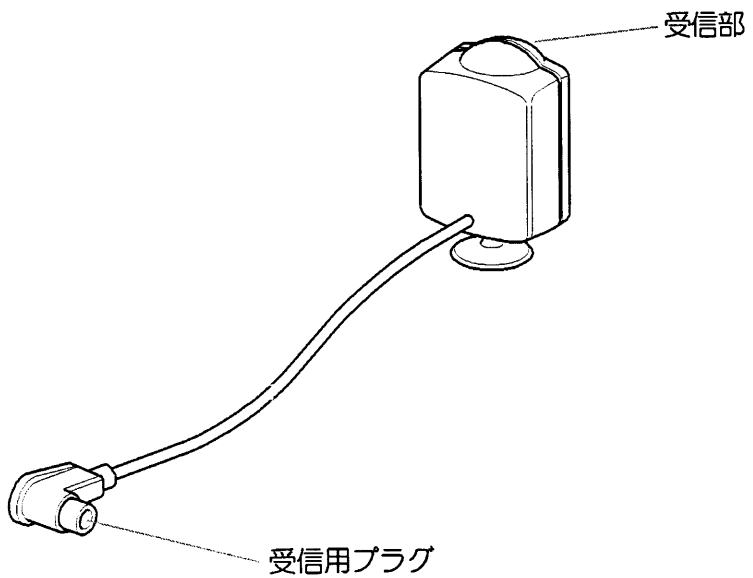


# 各部の名称

## 送信ユニット



## 受信ユニット

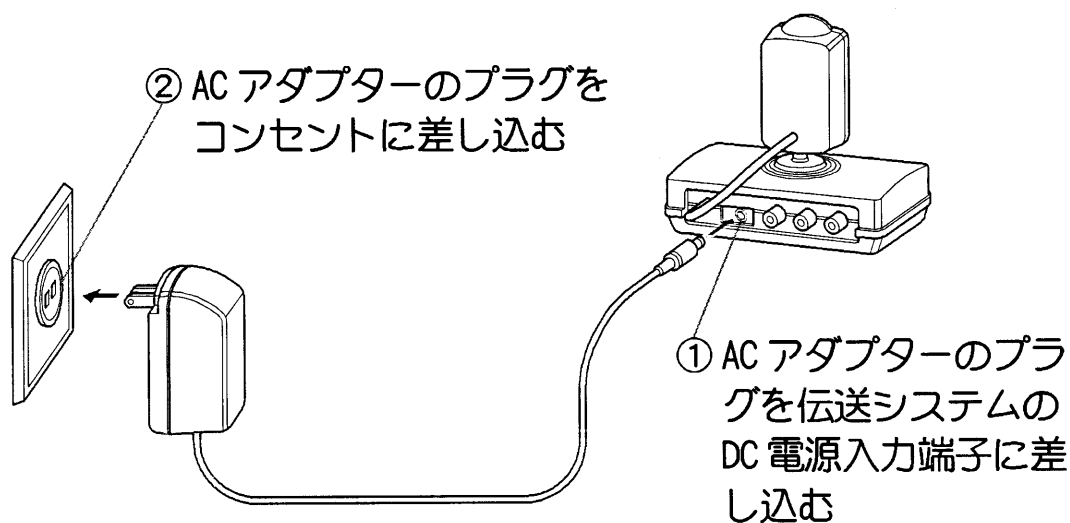


基本的な使いかた

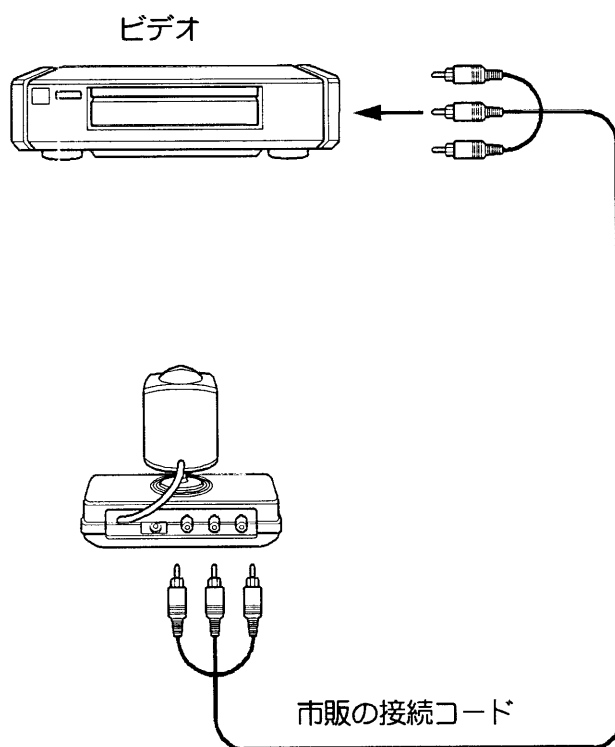
# 接続

接続するときは、赤外線伝送システム、液晶モニターおよび接続するほかの機器の電源が入っていないことを確認してから行ってください。

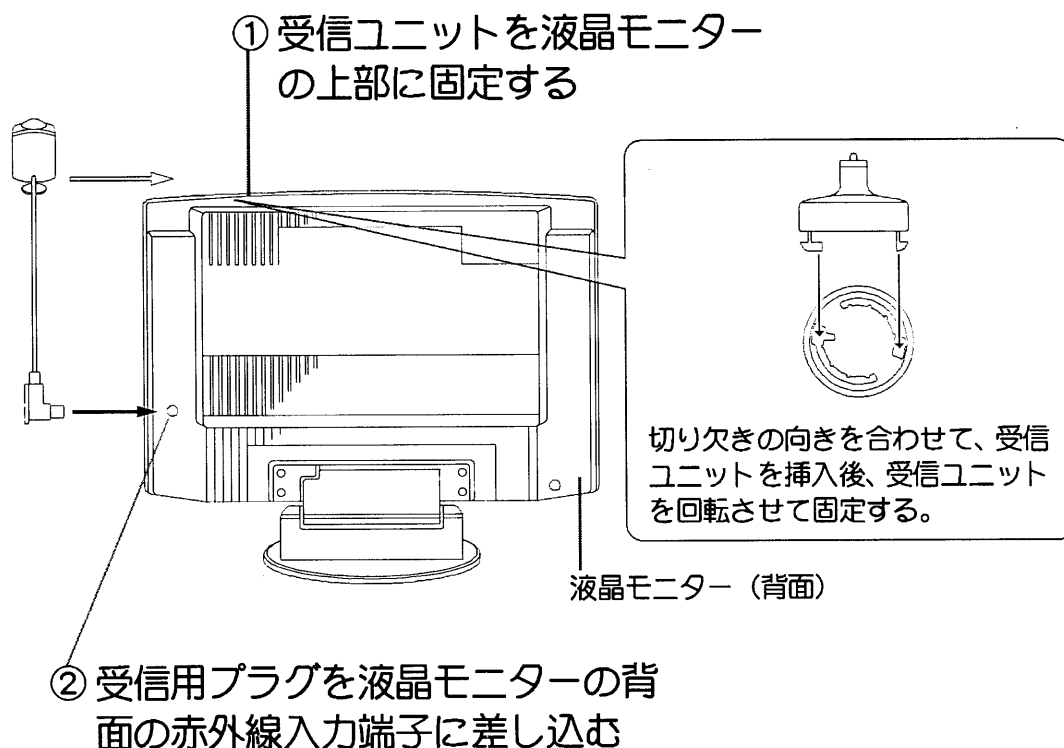
## ● ① 送信ユニットに AC アダプターを差し込む



## ● ② 送信ユニットをほかの機器と接続する



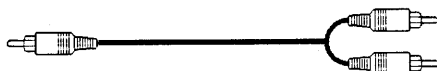
### 3 受信ユニットを液晶モニターに接続する



#### 接続に必要な接続コード（別売）

これらと同等のコードが相手側の機器に付属している場合には、新たにご購入の必要はありません。

- ・ 音声信号入出力接続コード HPU-141AV  
(コード長 1.5m)



主にモノラルビデオの音声入出力端子との接続に  
使用します。

- ・ 映像信号入出力接続コード HPU-131AV  
(コード長 2m)



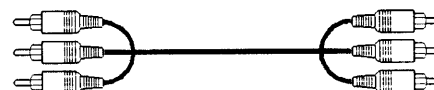
主にビデオの映像入出力端子との接続に使用  
します。

- ・ 音声信号入出力接続コード HPU-121  
(コード長 1.5m)



主に Hi-Fi ビデオの音声入出力端子との接続、  
ステレオ装置との接続に使用します。

- ・ 映像・音声信号入出力接続コード HPU-200AV  
(コード長 2m)



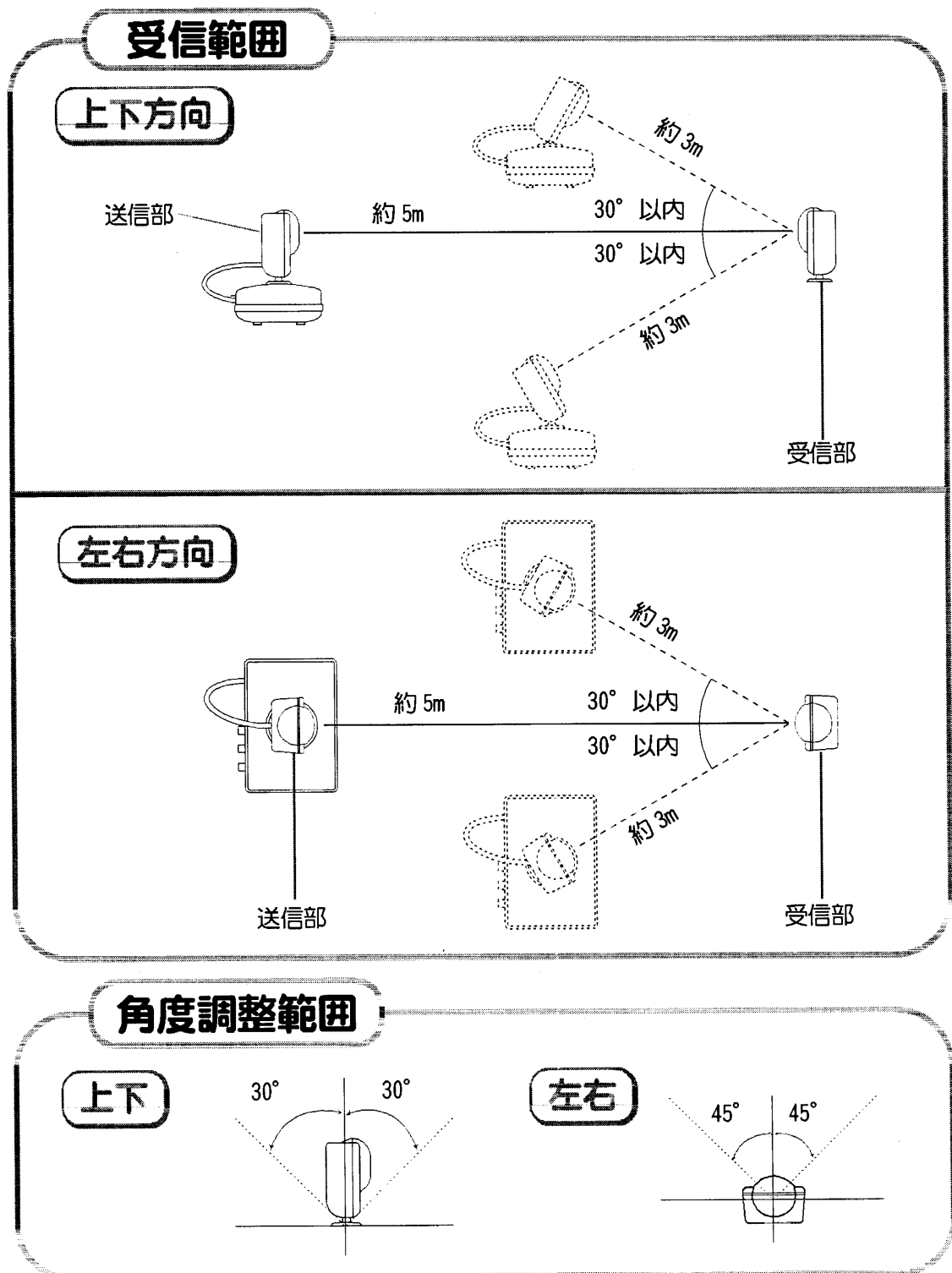
主に Hi-Fi ビデオの映像・音声入出力端子との接続  
に使用します。

基本的な使いかた

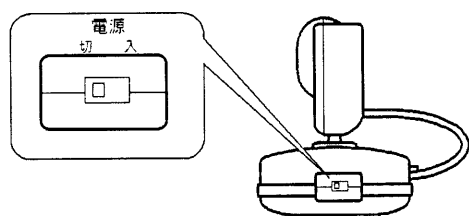
# 設置・使用方法

送信部は、受信部の正面から約5メートル、上下左右30度では、約3メートルの範囲内を目安に設置してください。

## 1 送信部と受信部の向きを合わせる



## 2 送信ユニットの電源を入れる



送信ユニットの電源スイッチを「入」側にします。  
電源が入ると電源ランプが緑色に点灯します。

## 3 受信ユニットの電源を入れる

- ・ 液晶モニター取扱説明書に従い、電源を入れてください。
- ・ 接続するほかの機器の取扱説明書に従い、電源を入れてください。

## 4 「ビデオ：3 ワイヤレス」画面を選ぶ

- ・ 液晶モニター付属のリモコンまたは液晶モニターの入力切換ボタンを押して、「ビデオ：3 ワイヤレス」を選びます。

## 5 送信部と受信部の角度を調整する

映像が鮮明に映る角度に調整します。



制限

- ・ 送信部と受信部の間をさえぎらないでください。映像・音声がなくなります。
- ・ 送信部と受信部が近すぎると、ノイズが入ることがあります。
- ・ 受信部にリモコンなどの赤外線を当てないでください。ノイズが入ったり、大きな音が出たりします。また、直射日光などの強い光が当たると、同様な現象が起きることがあります。
- ・ ブラウン管タイプのテレビや、ラジオ等の強い電波を出す機器の近くで使わないでください。ノイズが入ったり、大きな音が出たりすることがあります。
- ・ 本システムを同時に複数使わないでください。混信することがあります。

## 有償部品について

伝送システムの部品は使用しているうちに劣化し、磨耗します。

次の部品は、寿命時に交換してください。

その際は、お買い求め先にご連絡ください。

なお、交換した部品は、購入時の部品と仕様が異なる場合があります。

品名	寿命	備考
ACアダプター	約5年、12,000時間	*1
制御基板		

\*1：各部品の寿命は1日あたり約8時間、1ヶ月あたり25日の通電使用を想定した数値です。したがって、通電時間が上記より長い場合は、その分寿命が短くなります。

### 警告

ACアダプターに使用されている電解コンデンサーは、寿命部品です。寿命時間の約5年以上使用される場合には、ACアダプターを交換してください。電解液の漏れや枯渇により発煙、発火や感電の原因となることがあります。また、装置の故障の原因にもなります。

## アフターケアについて

ここでは、伝送システムを購入されたあとに受けられるアフターケアについて説明します。

### ■保証書について

このマニュアルの裏面が保証書になっています。所定事項が記入されたものをお受け取りになり、大切に保管しておいてください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容に基づいて無料で修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。保証期間終了後の修理については、「FLORA 安心コールセンター」へお問い合わせください。

### ■保守サービスについて

保守サービスをお受けになる際は、「FLORA 安心コールセンター」へお問い合わせください。

### ■保守サービスの種類

#### ■引取り修理

「FLORA 安心コールセンター」にご連絡ください。修理依頼品をお受け取りし、修理完了後にお届けいたします。保証期間中は修理費/運送費とも無償ですが、保証期間完了後は修理費/運送費は有償です。

#### ■持ち込み修理

お買い求め先に修理依頼品をお持ち込みいただきます。

修理後、お持ち込みいただいた場所でお客様にお引き取りいただきます。

### ■保守部品について

伝送システムの保守部品の保有期間は製造終了後6年です。

# 故障かな？と思ったら

ACアダプターがはずれていたり、受信用プラグがはずれていたりしていると故障とまちがえることがあります。お買い求め先に連絡する前に次のことを一応ご確認ください。それでも具合の悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求め先にご相談ください。

## ■故障とまちがえやすい現象

下表に示す症状は、故障ではない場合があります。危険のないことをご確認のうえで、修理をご依頼になる前に下表の内容をご確認ください。

このようなときは	よくある事例	ここをお調べください	参照ページ
画面が出ない、音も出ない	入力切換位置不一致	液晶モニターの入力を「ビデオ：3 ワイヤレス」にしてください	*
	送信ユニットと受信ユニットが離れすぎていませんか？	送信ユニットと受信ユニットの距離を近づけてください	12
	受信角度は合っていますか？	受信角度を調整してください	12
	送信ユニットと受信ユニットの間がさえぎられていませんか？	障害物を除いてください	13
ノイズが入ったり大きな音がする	送信ユニットと受信ユニットが近すぎませんか？	送信ユニットと受信ユニットを離してください	12
	直射日光などの強い光が当たっていませんか？	受信部に強い光が当たらないようにしてください	13
	受信角度は合っていますか？	受信角度を調整してください	12
	リモコンなどの赤外線を使用した機器が近くで使用されていませんか？	ほかの機器の電源を切ってください	13
	強い電波を出す機器が近くで使用されていませんか？	ほかの機器の電源を切ってください	13
混信する	本システムを同時に複数使用すると混信する可能性があります 同時に使用しないでください		

\*：液晶モニターの取扱説明書をご参照ください。

# 仕様

形名	BR6000	
	送信ユニット	受信ユニット
送信方式	赤外線	
伝送距離	約 5m (正面)	
	約 3m (上下左右 30°)	
チルト角度	上下 30°	
スイーベルト角度	左右 45°	
電源	AC100V 50/60Hz (AC アダプター)	液晶モニターより供給
	DC10V 320mA	DC24V 85mA 1mA
消費電力	5.8W	-
外形寸法	幅 108 × 高さ 104 × 奥行き 83 (mm) (突起部、ケーブルは含まず)	幅 42 × 高さ 75 × 奥行き 33 (mm) (突起部、ケーブルは含まず)
質量	155 g	86 g
使用環境	温度 (使用時) 5 °C ~ 35 °C 温度 (保存時) -20 °C ~ 60 °C 湿度 (使用時) 20% ~ 80% (結露なきこと) 湿度 (保存時) 10% ~ 85% (結露なきこと) 最大湿球温度 25 °C	
付属品	AC アダプター..... 1 個	取扱説明書 (本書) .... 1 冊



# 保証規程

## 1. 保証期間内においても次の場合には有償修理となります。

- (1) 本証書の提示がない場合。
- (2) 本証書の所定事項の未記入あるいは字句を訂正された場合。
- (3) お客様による輸送および移動時の落下、衝撃等お客様のお取り扱いが適正でないために生じた故障または損傷の場合。
- (4) 本製品の説明書記載方法および注意事項に反するお取り扱いによって生じた故障の場合。
- (5) 火災、地震、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷の場合。
- (6) 本製品に接続している当社指定の機器以外に起因して、本製品に故障が生じた場合。
- (7) 本製品には異常がなく、本製品と接続およびセットで使用される他の部品の不良を点検もしくは改善した場合。

## 2. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

## 3. 本製品がご贈答品等あるいはご転居後に修理を依頼される場合は、本保証書に記載された販売店にご相談ください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、アフターサービスについてご不明の点や何かお困りのことがございましたら、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

# 赤外線伝送システム 保証書

持込修理

形名	BR6000		
※ お 客 様	ご芳名	様	
	ご住所〒		
	電話	( )	
※お買い上げ日		保証期間 (お買い上げ日より)	
平成	年	月	日
	本	体	1 年

※ 販 売 店	住所・店名		
	電話	( )	

※ 印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

日立製品をお買い上げいただき有難うございます。保証期間内に正常なご使用状態のもとで、万一故障した場合は本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたします。商品と本書をご持参・ご提示のうえ、お買い上げの販売店へご依頼ください。

本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

詳しくは、「保証規程」[17](#)をご覧ください。

## 赤外線伝送システム 取扱説明書

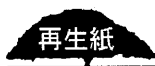
初 版 2000 年 9 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

## ◎ 株式会社 日立製作所 デジタルメディアシステム事業部

〒 243-0435 神奈川県海老名市下今泉 810 番地



QR47221

Printed in Japan.

BR6000-1